

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2022.9
AUTUMN No.22

熊本県サッカー協会広報紙

2022年10月31日発行 通算第106号

発行者/一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

特集

社会人になってもサッカーを

“楽しむ”

1種・社会人の
2大会をレポート!



2022年度 KFA第58回 全国社会人サッカー選手権大会熊本県予選

日程：4/17、24、5/1、15、22、6/12
会場：県民総合運動公園、山鹿市カルチャースポーツセンター、
芦北町宮岩崎グラウンド、益城町総合運動公園、水前寺陸上競技場
参加チーム数：27

RKKカップ争奪 KFA第29回 全国クラブチーム選手権大会熊本県予選

日程：6/19、7/3、10、17
会場：県民総合運動公園、山鹿市カルチャースポーツセンター、
菊池市七城運動公園
参加チーム数：16



サッカーに限らず、さまざまなスポーツにおいて、年齢や体力に応じて生涯にわたり競技を続けることは、体力づくりや健康維持、生きがいづくりに繋がります。一方で、働き盛りといわれる30〜50代は、仕事、家事・育児など、多忙な日々を送っており、スポーツに親しむ時間が限られているのも事実です。そうした世代のカテゴリーである「1種・社会人」の2大会を通じて、社会人になってもサッカーを楽しむ姿を紹介します。

「社会人」カテゴリの存在をもっとアピール

県内の1種社会人の登録チーム数は、4〜2種の登録人数からすると、少ないと感じます。今後、登録人数を増やすためには、2種や学生に「社会人」というカテゴリを知ってもらうことが重要だと思えます。また、それぞれに仕事や生活がある中で、社会人の皆さんにとってサッカーというスポーツが、少しでも生きる上での糧になればと感じています。そのためにも、まずは選手登録した皆さんが、「登録して良かった」「来年も登録したい」と思ってもらえるような運営を行っていくことが必要だと思えます。

●1種社会人委員長
甲斐 沖太

サッカーのすそ野を広げる一助に

県内のサッカー振興はもちろん、「生涯スポーツの応援」という弊社の掲げる理念にも合致することから、毎回、主催者として関わらせていただいています。サッカーには、「リーグを頂点とするカテゴリのピラミッドがあります。スポーツが地域に深く根付くためには、そうした頂点の強化だけでなく、スポーツに親しむすそ野を広げることも重要だと思えます。1種・社会人を対象とした大会を応援することが、その一助になればと願っています。

●主催者/RKK熊本放送

用具の貸出を行っています!

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

アレがない...

コレがない...

貸出用具の一例



AED(自動体外式除細動器)



移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm
発行部数：5,000部/1回
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

特集 社会人になってもサッカーを“楽しむ”



優勝
マリーゴールド熊本



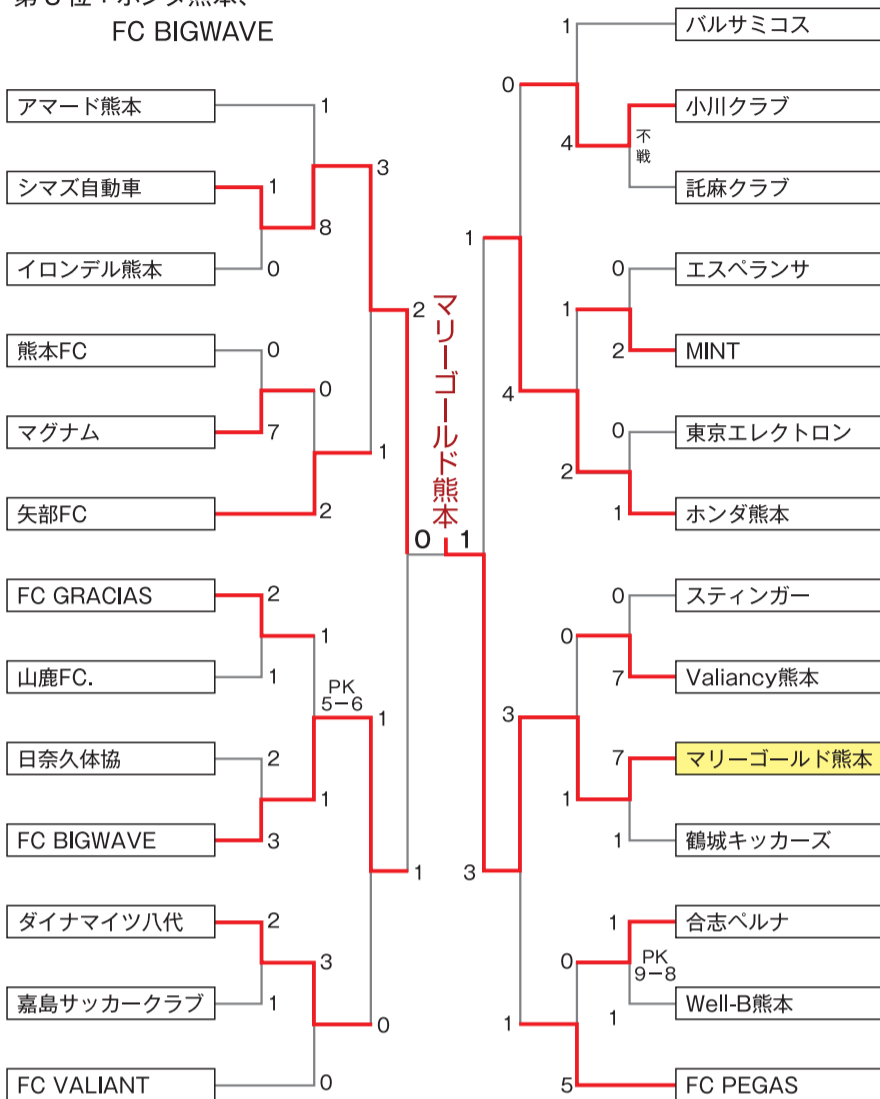
宮地 竜平さん

ベストメンバーが
組めなくても戦える
チームづくりを！

決勝戦は天皇杯でも戦ったチームで、勢いがあつてなかなか自分たちのペースに持ち込むことができず苦戦しましたが、優勝できました。優勝できて良かったです。それだけに仕事や生活が忙しく、練習や試合でも常にベストメンバーが揃うわけではありませんが、その分、誰にでもチャンスがあるので、誰が試合に出て勝てるようなチームづくりを目指しています。

2022年度 KFA第58回全国社会人サッカー選手権大会熊本県予選

優勝：マリーゴールド熊本
準優勝：シマズ自動車
第3位：ホンダ熊本、FC BIGWAVE



優勝
嘉島サッカークラブ



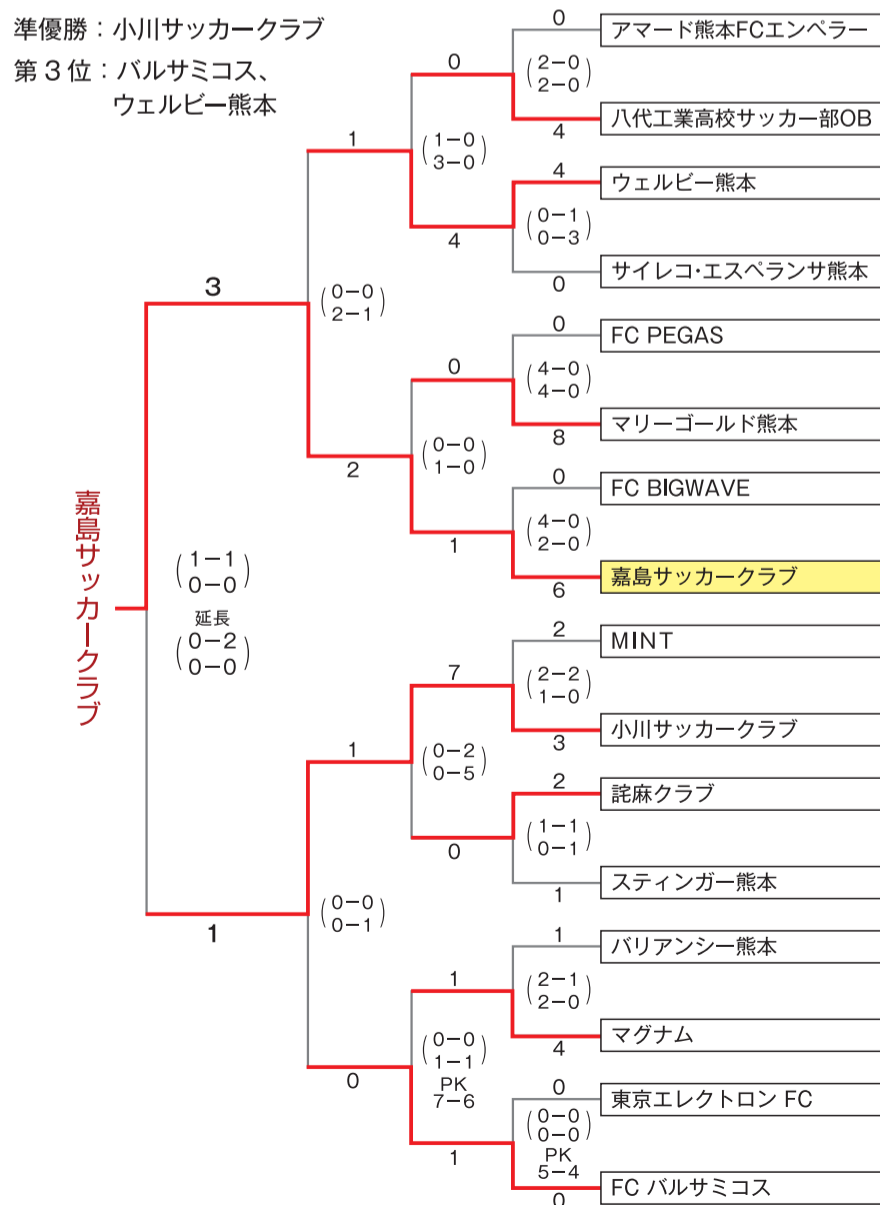
上田 充輝さん

世代を超えてサッカーに
熱中できるのが
社会人の魅力

社会人は、まずは仕事が大仕事ですから「その時来られるメンバーで戦う」というのが、大変でもあり楽しみでもあります。また、メンバーの年齢が19歳〜30代後半までと幅広く、世代を超えてサッカーに取り組みめるのも1種「社会人の魅力の一つです。その上で勝ちにもこだわりたいので、とにかく走るを基本に、相手に体力負けないことをチームとして心掛けています。

RKKカップ争奪 KFA第29回全国クラブチーム選手権大会熊本県予選

優勝：嘉島サッカークラブ
準優勝：小川サッカークラブ
第3位：バルサミコス、ウェルビー熊本



2022年度 定時総会を開催

県サッカー界の新たな未来へ。河田新会長の下、さらなる前進を!



感染対策を取った上で、対面形式で行った2022年度定時総会。フットボールセンターの開設を控え、会場からも期待と熱気が感じられました



河田新会長をはじめとする新任役員が挨拶。それぞれの抱負を語りました



来賓挨拶に立ったロアツソ熊本永田社長。協会との連携強化に謝意を述べられました



総会の最後には功労者表彰も行われ、河田新会長から感謝状が授与されました



建設中(6月末時点)の熊本県フットボールセンターの工事の進捗や今後の予定について報告する(株)熊本フットボールセンターの松下涼太代表

6月5日、一般社団法人熊本県サッカー協会の2022年度定時総会を、嘉島町民会館2階会議室にて開催しました。今回もコロナ禍での総会でしたが、感染対策を行った上で通常通り開催し、50名を超える参加がありました。併せて県サッカー協会功労者並びに緒方健司賞の表彰式も行われました。

今なお続くコロナ禍の中、熊本県サッカー協会の2022年度定時総会を、予定通り開催しました。開会に先立ち、先ごろ逝去された当協会の田川憲生名誉会長へ黙とうを捧げました。

その後、開催の挨拶に立った前川隆道会長は、「嘉島町に建設中の熊本県フットボールセンターも完成が近づいている(8月下旬に完成)。サッカーファミリーはもちろん、建設に賛同する多くの個人、団体、企業から多額の寄付・出資をいただき、心から感謝したい」と述べました。また、来賓として参加したJ2 ロアツソ熊本の運営会社(株)アスリートクラブ熊本の本永田求社長からは、「コロナ禍でスポンサー集めや観客動員などの苦労はあるが、一人でも多くのサポーターにスタジアムに足を運び、応援してもらうためには、協会との連携が不可欠」との言葉をいただきました。

前川会長が退任し「名誉会長」に

続いて行われた議事では、2021年度事業報告など、第1号〜4号の議案が諮られ、それぞれ満場一致で原案通り承認されました。さらに、2022年度の事業報告及び収支予算、2021年度の監査報告なども行われました。

またこの日は、任期満了に伴う退任役員並びに新任役員の見解もありましたが、その中で、これまで3年にわたって会長を務めた前川隆道氏の退任と、河田信之氏の新任会長就任も発表されました。

退任にあたって前川前会長は、「これまで自分を育ててくれたサッカー界への恩返しを」との思いで

2021年度熊本県サッカー協会表彰式

緒方健司賞

今村 美香様 新生 恒治様 山口 圭介様
甲斐 沖太様 辰巳 禎一様

熊本県サッカー協会功労者

北原 悦子様 中村 修様 御厨 眞様
山田 清様 原 弘明様

写真左から 新生様、今村様、前川会長、甲斐様、山口様 (辰巳様は欠席)

写真左から 山田様、前川会長、北原様 (中村様、御厨様、原様は欠席)

サッカーを通じた 社会貢献に努め 熊本を全国有数の サッカー王国に!

平素から、サッカー界発展のために昼夜を問わず普及活動にご支援とご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。私事で申し訳ございませんが、昭和50年に熊本県サッカー協会理事役員として就任以来、関係各位の皆様方からご厚誼を仰ぎながら今日まで取り組んでいる中、このたび、会長に就任いたしました河田信之でございます。

これまで、歴代会長が積み重ねてこられたご功績を引き継ぎながら、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の身の健全な発達と社会の発展に貢献する」というJFA理念の下、「(蹴夢)夢があるから強くなる」ことを合言葉に、県サッカー界を統括し代表する団体として競技の普及および振興を図り、県民の豊かなスポーツ文化の振興、青少年の健全育成並びに心身の健全な発達に向けた目標を力にして、鋭意努力してまいります。

その中で、県サッカー協会の中期目標であります、熊本地震からの復興を全国へ発信するシンボルとして、

一般社団法人
熊本県サッカー協会
会長 河田 信之

熊本県フットボールセンター建設に取り組み、今年8月末に竣工することができました。これもひとえに、嘉島町からの献身的なご支援ご協力を賜り、日本サッカー協会からの助成金をはじめ、県内外のサッカー愛好者の方々から寄付金等を頂いたおかげであります。この、ご厚意に心から厚く感謝申し上げます。

この施設を拠点として、将来に向けた県サッカーの更なる発展のため、普及、育成、強化等の取り組みを推進し、県サッカー協会一丸となって、全国で有数のサッカー王国を引き続き目指してまいります。

少子化の影響を受けてサッカー人口も減少傾向にあります。フットボールセンターの竣工を契機に、夢を力に尚一層の魅力あるサッカーに情熱を傾け、楽しいサッカーを通じ、嘉島町と連携し地域住民と交流を深めながら社会貢献しなければと痛感しております。尚一層のご指導ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。河田新会長就任のあいさつといたします。



各大学の強化だけでなく、指導者等の人材輩出でも県サッカー界に貢献を

高校までサッカーに親しんだ選手たちが卒業後にプレーを続ける場として、1種のカテゴリーにあたる大学は貴重な場です。熊本県の大学サッカーの現状と課題、九州における立ち位置、新たにオープンする熊本県フットボールセンターとの関わり方などについて、大学の現場で指導に携わる御三方に話を聞きました。



かわべ やすのり 川部 靖徳さん

1984年生まれ。熊本国府高校卒業後、熊本学園大学外国語学部英米学科へ進み、卒業後は熊本市内の高校で英語教諭を務めながら、フォルテFC熊本でジュニア・ジュニアユースを指導。2012年、大学職員となり熊本大学熊本サッカー部のスタッフに。大学での指導のみならず、熊本市トレセン(U11・U12)や熊本県トレセン(U15)での指導、47FAインストラクターとして指導者養成にも関わる。

「はじめに、今のチームと関わるようになった経緯を教えてください。」
川部 2013年に東海大学が改組し、定員確保のための高大連携プロジェクトとして、サッカーを対象競技に高校、大学の生徒を募集することになりました。当時JFAアカデミー熊本宇城にいた瀧上知巳先生(現東海大学熊本サッカー部総監督)が招聘され、瀧上先生から「一緒にやらないか」と話をもらったのがきっかけです。
立木 私は2016年に教員として熊本学園大学に赴任しました。2017年から監督、今は総監督を務めています。
井嶋 私は2013年までGKコーチとして浦和レッズに在籍して、家庭の事情で熊本に帰ることになった際、熊本国府高校時代の恩師である瀧上先生から声をかけてもらいました。
――東海大学と熊本学園大学の指導方針について聞かせてください。
川部 強化が始まった頃は高校にも大学にもマンパワーも注ぎ、生徒募集と実績を出すために指導者主導で取り組んできました。が、ここ数年はトレーニングの企画、立案、計画、実行まで、我々スタッフとコミュニケーションを取りながら、キャプテンと幹部を中心にした学生たち主導で運営するという方向性に変わってきています。
立木 熊本学園大学は歴史が長いので、赴任した時には特有の雰囲気や伝統を感じました。大学を上げてスポーツを強化するという発想ではないので、旧来の大学の部活動の良さを生かしながら運営しています。とは言え、川

部さんが言うように今はどの大学でも自主的に運営しているのではないかと思います。その中でも、私が関わるようになってから変えようとしてきたのは、サッカーにも一生懸命チャレンジしながら、社会にどう直結させていくかということ。自分のキャリアをどう考え、どうクリエイティブに作り替えていくか、そうした経験の場になればと考えています。
――例えば筑波大学では、分析班を設けて学生が対戦相手を研究したり、近年は指導者資格を取って指導する側に回る学生もいます。この数年、大学サッカーでは「自主性」がキーワードになっているように感じます。
井嶋 そうした道を志す学生もいるでしょうし、映像を駆使して分析する専門職を志している学生もいるように感じます。
川部 筑波大学にはそういう歴史もありますし、それを学んでJFAやJクラブに入る学生もいるでしょう。主体的な運営をするチームは、筑波のような関東圏の大学だけでなく、全国的にも増えていると思います。
――学生主体でのチーム運営は、ピッチでのプレーやパフォーマンスにもプラスの影響があるのでしょうか。
川部 責任を与えると学生の取り組み姿勢も変わってくると思います。その意味では、世の中に出た時の仕事も同じ。ただ、全部を学生に任せてうまくいくかというところは、ない部分もあり、大人がスパイスを効かせないといけない場面もあります(笑)。仕事における上司と部下の関係に近いかもしれませんね。
――全国的にも増えている「学生主体の運営をするチームが」(川部)



いしま まさき 井嶋 正樹さん

1980年生まれ。熊本学園大学卒業後、熊本国府高校やFCKマリーゴールド熊本での指導を経て、2005年にJFAナショナルトレセンコーチGK九州担当、2006年に浦和レッドタイガースレディース、翌2007年から浦和レッドタイガースユースでGKコーチを務める。2013年に帰郷し東海大学熊本でJFAコーチとなり、2021年からはJFAコーチGKサブチーフ女子、U17日本女子代表GKコーチを担当。

立木 大学で部活動をするのは大変なこと。でも彼らは、それをあえて選んでいるわけです。その機会を通じて成長してもらおうのが理想ですが、放任ではないのでこちらがコントロールする部分と、任せないといけない部分があります。そのバランスがとても難しいですが、結果を出し成功すること、失敗してまた学んでいくこと、それを繰り返してやっていくしかないですね。
――社会に出る一歩手前の年代だからこそ、高校までの指導とは違う面がありそうですね。大変なことや苦労すること、逆にやりがいなどはどんなところですか。
井嶋 大人の一手手前ですから、目標や目的がより明確に見えてきますよね。小学生であれば「Jリーガーになりたい」「日本代表になりたい」という大きな夢に向かって努力することができ、大学生になると社会人も、大学生になると社会人も、目標を実現するのがなかなか難しい。それが見えてきた時にどう変えられるかという部分で、我々の配慮が必要だと思います。全ての学生がプロを目指すわけではないので、社会に出る準備段階で目標とサッカーをどうリンクさせるか、それがうまくいった時にはやりがいを感じます。
川部 4年生には「就職活動の調子はどうか？」という声掛けはします。内定が早く決まった選手はプレーも安定しやすいし、就職がなかなか決まらない学生は逆に「プレーにも波がある。プロに行きたい、サッカーで生きていきたい」と考えている学生も中にはいますが、自己評価と外からの評価にギャップのある学生

が増えている印象を受けます。
立木 学園大サッカー部のスタッフに就職課の方がいるので、「将来、何になりたいのか」は1年生の時から聞いています。働き方改革などがいわれる中であって、社会に出てもらえる中であって、事は両立すべきですから、部活と勉強、部活と就職活動も両立するように求めています。最近では公務員試験対策としてダブルスクールで予備校に通う学生も多く、練習を休むケースもあります。それが原因で他の部員から不満が出たり、チームのバランスを崩してしまったりすることもあります。ただ、本人にとっては就職が大事ですから、チームでも理解してくれるよう、常にコミュニケーションを図っています。
――熊本県での大学サッカーの現状と課題について、どう感じていますか。
井嶋 私も熊本学園大学出身ですが、在学当時はまだ、九州大学リーグ2部に参入できたくらい状況でした。当時からすれば、県内の大学のレベルは上がっていると思います。
立木 私は逆に、九州全体のレベルが下がっていると感じています。以前は福岡大学、鹿屋体育大学が全国大会でもベスト8、ベスト4に進出することが多くみられましたが、どうしてか、関東、関西の大学に進む高校生が増え、上位進出が難しい状況になっていますから、熊本などローカルの大学は、ひとランク落ちるのが現状です。ただ、その差は選手個人のタレントの差であって、チームとして埋められないほどの差ではない、とは思っています。
――最後に、嘉島町にオープンした熊本県フットボールセンターが大学サッカーにもたらす影響や、大学としてどう活用していくかをお聞かせください。
立木 ハード面が整うことは、県サッカーの発展につながると思います。それを大学がどう活用するかが重要です。
井嶋 JFAコーチとして九州を回る仕事もしていますが、熊本県フットボールセンターはアタセスの良い場所だと思いますから、「九州のトレセンや大会を熊本で開催して欲しい」という声は多くあります。九州大学リーグなどを熊本で集中開催できると、高校生など下の世代のカテゴリの選手も質の高い試合を見られますし、メリットは大きいと思います。
川部 大津町運動公園もあり、環境は熊本が一番だと思います。熊本県フットボールセンターが加われば、もっと可能性が広がると思います。
立木 九州大学リーグは福岡のチームが多いので、必然的に福岡での試合が増えますが、熊本が手を挙げれば集中開催も実現できると思います。せつかくの立地の良さを生かさないといいませんね。
――指導者、審判など、サッカー人材を地域に輩出するのも大学サッカーの役割(立木)



ついき ひろき 立木 宏樹さん

1972年生まれ。福岡教育大学教育学部、同大学院(修士)、九州大学大学院(博士課程)でスポーツ社会学を学んだのち、大学教員となり2016年に熊本学園大学社会福祉学部ライフェルネス学科に准教授として赴任。大学院生時代から福岡教育大サッカー部、九州大学選抜で指導にあたり、現在は熊本学園大学サッカー部総監督を務める傍ら、九州大学サッカー連盟の理事長として地域全体に目を向ける。

「大学生として、社会に出る準備とサッカーをどうリンクさせるか」(井嶋)

井嶋 立木先生が言われるように、選手が進路として、九州では福岡大や鹿屋体育大の優先順位が高いと思いますが、熊本でも大学でサッカーが続けられる環境ができたことはポジティブな部分だと思っています。「サッカーを続けたい」という県内の高校生にとって、学園大、東海大は確実に選択肢になっています。川部 ただ、県内全体では大学サッカー部の数は減っています。大学は8つありますが、高校時代のように夢中になってサッカーができる環境は少なく、1種の中の大学生の占める割合は減っているのではないのでしょうか。
立木 関東、関西、九州でも100名以上の部員が所属する大学が多くなってきているように感じます。その一方、指導者がおらず、サッカー部の活動ができなくなる大学もあり、大学サッカーを取り巻く環境は二極化しています。加えて、チームの強化も大切ですが、卒業後も生涯スポーツとして続けてもらいたい、サッカーファミリーの人口を増やすことや、指導者、審判など、サッカーに関わる人材を輩出することも、大学サッカーとして県サッカー界に貢献できる部分ではないかと思っています。
川部 東海大学は高校と同じグラウンドを使っている、高校生は大学のプレー強度を見られますし、大学生は高校生のいい見本にならなければいけない。立ち上げから関わってきたスタッフは長く熊本で活動し地域に貢献してきた人たちで、育成年代や高校の先生方ともつながっていますから、指導者や審判など、さまざまな面で学生が地域に還元する活動もしています。学生が4、2種の公式戦をアシスタントレ

フェリーとしてサポートすることで大学のことを知ってもらったり、小中学校時代にお世話になったクラブに戻って指導者になったり、大学を経て地域に戻っていく学生が増えてきました。我々もトレセンや国体、指導者養成など、学生を指導するだけではない関わりがあり、大学という教育機関にいながら県サッカー界に貢献できる楽しさを感じます。

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

嘉島町総合運動公園東エリア

「COSMOS(コスモス)」

オープン記念号

施設の愛称は「COSMOS」

県サッカーの強化・育成・普及の拠点施設オープン



ロゴマークも決定!



人とまちの可能性を育てる場を目指して

愛称のネーミングとグラフィックデザインは、小林一毅氏に依頼しました。コンセプトは「大きな夢と小さな原石」。「コスモス」は、ギリシャ語で宇宙、調和、秩序を意味します。宇宙が未知に溢れているように、我々一人一人が持つ可能性もまた未知であり無限大。また、コスモスは嘉島町の町花でもあります。そんな人とまちの可能性を育てる場でありたいという願いをこめたロゴマークです。

悲願のフットボールセンター建設が実現!

2015年に、当時会長を務めていた故田川憲生氏が当協会の中期目標として掲げたのが「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」と、そのための強化・育成・普及の拠点となる「フットボールセンター建設」でした。その協会の悲願ともいえる事業が、7年の歳月を経てついに実現しました。

建設中だった嘉島町総合運動公園東エリア(熊本県フットボールセンター(仮称))が、愛称「COSMOS(コスモス)」として9月3日にオープン。約54,000㎡の敷地内に日本サッカー協会(JFA)公認の人工芝グラウンドを2面備えた恵

まれた環境で、今後、熊本県サッカー協会(KFA)主催の公式戦会場としてはもちろん、各種イベントや事業の場としても活用していきます。

また、単なるサッカーフィールドではなく、11月にオープン予定のカフェやコワーキングスペースなどを通じて、地域の交流拠点としての役割も担う複合施設となります。サッカーファミリーから地域住民まで、さまざまな人々が「COSMOS」に集い、交わり、そこから地域の活性化につながる何かが生まれる。そんな場所を目指してスタートしました!

オープニングセレモニーを盛大に開催!

9月3日、「COSMOS」のオープンを祝うセレモニーと各種イベントが行われました。当日は、雨模様のぐずついた天気にも関わらず、多くの関係者、サッカーファミリー、さらには近隣住民の方々が詰めかけ、完成したばかりの人工芝のフィールドを駆け回ったり、芝生広場で行われたマルシェを楽しんだりしました。

県サッカーの聖地を目指して 華々しくキックオフ!

9月3日に開催した熊本県フットボールセンター「COSMOS」のオープニングセレモニー。当日は、田嶋幸三・日本サッカー協会会長をはじめ、嘉島町の荒木泰臣町長、熊本県の蒲島郁夫知事など、約1,000人の来賓をお迎えしてセレモニーを行いました。

主催者挨拶、来賓祝辞に続いて、サッカー日本代表の新ユニフォームが、田嶋会長からくまモンへ贈呈されました。さらに、来賓の皆様にもご参加いただき、「COSMOS」内に併設されている「こすもす保育園」の園児らとのキックインセレモニーも行われ、フットボールセンターのオープンを祝いました。

またこの日は、芝生広場にキックインカーが並ぶ嘉島町マルシェや県出身日本代表選手のユニフォーム展示のほか、フィールドでもなでしこサッカー体験会、ロアッソ熊本キッズサッカー教室、JFAフットボールデーなどのキッズ向け体験会を実施し、多くの家族連れで賑わいました。さらに、県内のシニアチームが参加してのシニアPK大会や各世代の熊本県代表チームの強化試合なども行われ、選手たちはそれぞれに真新しいフィールドの感触を楽しんでいました。



セレモニー終了後は、こすもす保育園の園児たちも交えて記念撮影



小雨にも関わらず多数の来賓にご出席いただき盛会に終わったオープニングセレモニー



ひまわり保育園の園児たちへ向けて、主催者、来賓によるキックイン

主催者あいさつ

地域住民も楽しめる施設 全国、世界で活躍する 選手の輩出を

熊本フットボールセンター
代表取締役 **松下 涼太**



本日は、「COSMOS」のオープニングセレモニーにご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。完成にあたりまして、全国でも例のない新たな取り組みに賛同いただき、今日まで私達と伴走いただきました荒木泰臣町長はじめ嘉島町の皆様、熊本サッカー界の挑戦に、ご理解と施設整備事業として採択いただき、ご支援いただいた田嶋幸三会長はじめ日本サッカー協会の皆様、そして本日ご臨席賜りました蒲島郁夫知事をはじめ、多くのご来賓の皆様のご協力で、記念すべき日を迎える事が出来ました。これまで私どもにご支援を頂き、誠にありがとうございます。

本施設が掲げるテーマの一つに「スポーツを通じたまちづくり」があります。そのテーマを実現するため計画当初より、グラウンドだけでなくさまざまな機能を取り入れた複合施設であること、本施設の柱としてきました。すでに開園している、こすもす保育園やこれから完成するカフェ、コインランドリー、そして熊本県サッカー協会をはじめ、多くの団体が入居する交流拠点施設、さらに7月に皆さんと一緒に苗を植え、完成した芝生広場もあります。

皆さん、想像してみてください。これから平日は、朝から保育園にお子さんを預ける保護者の方々が行き来し、子どもたちを送った後、コインランドリーでお仕事を済ませ、コインランドリーの洗濯が終わるまでの時間を、誰もが利用できるカフェで過ごす県民、町民の皆さん。その同じ時間には、グラウンドでサッカーを楽しむシニアチー

主催者あいさつ

田川元会長の想いが形に サッカーを通じて 社会貢献を

熊本県サッカー協会
会長 **河田 信之**



ここに熊本県フットボールセンター「COSMOS」のオープニングセレモニー開催にあたり、主催者を代表致しましてごあいさつを申し上げます。本日は大変ご多忙の中、遠路より日本サッカー協会会長・田嶋幸三様、嘉島町町長・荒木泰臣様、熊本県知事・蒲島郁夫様をはじめ、県内外からご来賓各位のご臨席を賜り、このように盛大に開催されますこと、心から厚く御礼申し上げます。

さて、熊本県サッカー協会は、サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献するという、日本サッカー協会理念のもと、「蹴夢」夢があるから強くなるを合言葉に、各種事業等を展開し夢に向かって活動しています。その夢の一つが、熊本県フットボールセンターの建設でした。これは、県サッカー界発展のために尽力され、今春道半ばで惜しまれながらご逝去された故田川憲生様が、2015年に当協会会長に就任された時に表明したもので、協会の中期目標の一大事業です。

翌年、熊本地震が発生したのを受け、震災からの復興を全国に発信するシンボルとして、フットボールセンター建設を協会挙げて取り組んできました。そして今日、無事竣工の運びとなりました。これもひとえに、嘉島町からの献身的なご協力に加え、国際サッカー連盟および日本サッカー協会からの助成金、県内外の方々からの寄付金等のおかげです。そのご厚意に対し、心から感謝申し上げます。

「COSMOS」は、嘉島町との官民連携事業による施設で、夜間照明付人工芝コート2面の他、保育園や天然の芝生広場等、さまざまな施設を併設し、地域住民や他のスポーツを交えたスポーツ文化の発信拠点としての役割も担ってまいります。当協会でも、本施設を県民のサッカー活動拠点として将来に向けた県サッカー界のさらなる発展のため、強化、育成、普及等の取り組みを推進し、協会一丸となって引き続き「全国で有数のサッカー王国・熊本」を目指してまいります。

JFA田嶋会長も駆けつけ、



取材も多数駆けつける注目度 笑顔があふれ、歓声が響きわたる1日！

この日は新聞、テレビなど各マスコミも多数取材に駆けつけるなど、「COSMOS」の注目度の高さを伺わせました。また、サッカー日本代表の移動バスが展示されたり、くまモンがオープニングセレモニーのサプライズゲストとして登場したりと、世代を超えて楽しめる催しも多く、笑顔と歓声に満ちた1日となりました。



来賓あいさつ



熊本県 知事
蒲島 郁夫 様

この素晴らしい施設を造ってくださった県サッカー協会、そして嘉島町をはじめ、それを支援してくださった皆様、心から御礼申し上げます。実際にこの目で施設を見て、その素晴らしさに驚きました。まずは、このような施設を夢見て行動を起こした県

サッカー協会元会長の故田川憲生様に感謝申し上げます。私が知事として3期目の就任を迎えた日が熊本地震でした。その時頭に浮かんだのは「逆境の中にこそ夢がある」という私のモットーです。「COSMOS」も、まさにそうした逆境の中から生まれた施設だと感じます。さらに、これから10年後、20年後にここから巣立った子ど

もたちが日本や世界の舞台で活躍するという夢を、私たちも一緒に見ることができるよう素晴らしいと思います。今後は、「COSMOS」を大事に育て、巣立っていく選手たちを応援する中で、その礎を作った田川元会長や、その思いを受け継ぎセンター建設を実現させた多くの方々への感謝を胸に、県としてもしっかりとセンターを応援していきたいと思



嘉島町 町長
荒木 泰臣 様

センター建設にあたって河田会長をはじめとする県サッカー協会の皆様、運営を担う熊本フットボールセンター代表取締役の松下様など、関係する皆様のご努力に心から敬意を表します。センター建設は、熊本地震直後に県サッカー協会元会長

の故田川憲生様から「県サッカーの拠点づくりに協力してほしい」との要請をいただいたのが始まりです。当時、嘉島町でも総合運動公園の予約がなかなか取れないという状況下であり、互いの意見の一致を見てフットボールセンター建設に共同で取り組むことになりました。官民連携での施設建設は全国でも珍しいことですので、これが他のモデル事業となるよう今後

も町と協会で連携・協力しながら運営されていくことを願っております。これから「COSMOS」が、県サッカーの強化・育成の拠点となる施設となり、ここから日本代表となつて世界に羽ばたくような選手が輩出されることを願っています。また、スポーツ文化の発信拠点として、サッカーに限らず多くの方々にご利用いただけることを心から祈念する次第です。



日本サッカー協会 会長
田嶋 幸三 様

本日は「COSMOS」の竣工を心よりお祝い申し上げます。甚大な被害に見舞われた熊本地震を乗り越え、国内外からの多くの支援を受けてこのような素晴らしい施設が完成したことを、日本サッカー協会として、また一人の熊本県出身者として本當にうれしく、誇らしく思います。

今なお、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず、その一方で、豪雨や地震など、自然災害も日本各地で発生しています。私たちは、こうした災厄に直面するたびに、スポーツが安寧な社会と人々の健康の上に成り立つものであり、また、人々の心身の

健康と生命を維持するために不可欠なものであることを再認識します。同時に、困難を乗り越えるためには、人々が支え合い、助け合えるコミュニティを、持つことの大切さも痛感します。「COSMOS」では、季節を問わず、誰もが思う存分サッカーやフットサルなど、スポーツを楽しむことができます。しかも、保育園や多目的スタジアムのほか、会議室やコーキングスペース、カフェまでもが併設されるなど、スポーツ、子育て、仕事、余暇、あるいは災害時に集まることのできる、まさに現代社会のニーズに合った複合施設で、全国のモデルケースとなるフットボールセンターだと思

います。日本サッカー協会としても今後大いに注目している施設です。最後に、センターの創設に尽力された関係者の皆様に心からの感謝の意を表するとともに、熊本県のサッカーがますます発展していくことを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

熊本地震を乗り越え実現 豊かなスポーツ文化育む拠点に

熊本県のサッカーファミリーの皆さんをはじめ、県民・町民の皆さんも「COSMOS」の完成を心待ちにしていたのではないかと思います。荒木泰臣嘉島町長、議会の皆様、町民の皆様、その他ご支援いただいた多くの皆様のご理解とご尽力にあらためて敬意と感謝を申し上げます。

「COSMOS」では、季節を問わず、誰もが思う存分サッカーやフットサルなど、スポーツを楽しむことができます。しかも、保育園や多目的スタジアムのほか、会議室やコーキングスペース、カフェまでもが併設されるなど、スポーツ、子育て、仕事、余暇、あるいは災害時に集まることのできる、まさに現代社会のニーズに合った複合施設で、全国のモデルケースとなるフットボールセンターだと思

います。日本サッカー協会としても今後大いに注目している施設です。最後に、センターの創設に尽力された関係者の皆様に心からの感謝の意を表するとともに、熊本県のサッカーがますます発展していくことを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。



最新設備のフィールドで 全世代が安心・安全にプレーを

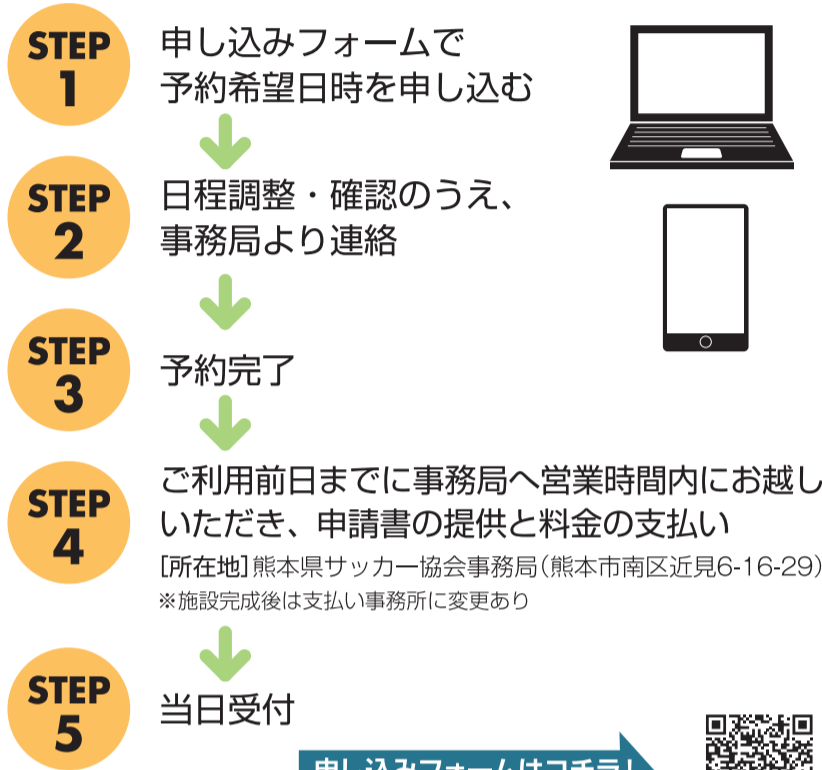
「COSMOS」の 予約について

「COSMOS」は、現在も建物部分の工事が続いています。すでに完成しているフィールド(人工芝)2面は、予約制でご利用いただけます。土日は公式戦での利用が中心になりますが、平日は各チームの練習等でも使用できます。ナイター照明も備えた人工芝のフィールドで、ぜひ安心・安全にプレーしてください。

使用料金

項目	時間	料金
フィールド1面(11人制ピッチ)	1時間	4,400円(税込)
フィールド半面	1時間	2,750円(税込)
ナイター照明1面(11人制ピッチ)	1時間	3,300円(税込)
ナイター照明半面	1時間	2,200円(税込)

予約の流れ



申し込みフォームはコチラ!



熊本県フットボールセンター「COSMOS」の
予約に関する詳しい情報は

熊本県サッカー協会

検索

キャンセル料について

キャンセル処理日	キャンセル料
使用予定日の1カ月前の前日まで	なし
使用予定日の1カ月前から10日前まで	使用料金の30%
使用予定日の9日前から2日前まで	使用料金の50%
使用予定日前日または当日	使用料金の100%

※雷・大雨・大雪などにより嘉島町周辺に警報が発令され、当社が使用をお断りした時は、使用料金を100%返金させていただきます。
 ※悪天候・事故等で当社判断により、フィールド使用不可能とした場合は、使用料金を100%返金させていただきます。
 ※雨天時も基本的に使用可能です。雨天などにより使用者都合によるキャンセルは、キャンセル料が発生しますので、あらかじめご了承ください。



寄付及び投資(ファンド)の結果報告

「COSMOS」の建設にあたっては、その建設費の一部を寄付や出資によって賄う方法を取りました。おかげさまで、フットボールセンター建設の趣旨にご賛同いただいたサッカーファミリーをはじめ、県内外の個人・企業・団体等から多額の寄付及び出資をいただきましたので、その結果をご報告致します。

寄付 25,014,766円 (314の個人と団体よりご寄付いただきました)

投資(ファンド)
A号: 21,000,000円 (出資者118名)
B号: 40,000,000円 (出資者64名)

投資(ファンド)については、7月31日に調達目標額の満額を達成したので、募集を締め切っていますが、寄付に関しては目標額の「3,000万円」を達成するまで引き続き募集を続けておりますので、ぜひご支援をお願い致します。

寄付の方法

お近くの郵便局で、窓口に設置してある「払込取扱票」「郵便振替払金領込請求書兼受領証」をご利用の上、お振込みいただけます。

- ゆうちょ銀行振込 …………… 01790-4-152698
- 他行からの振込 …… 一七九店 当座 0152698
 口座名義/一般社団法人熊本県サッカー協会
 カナ/シャ) クマモトケンサッカーキョウカイ

グラウンドオープンに向け 着々と工事が進行中!



人工芝のフィールド2面はすでに利用が開始された「COSMOS」ですが、カフェ、コインランドリー、コワーキングスペースなどが入る建物部分は、現在も工事中です。全ての施設が完成するのは11月中の予定で、さらに充実した設備でサッカーをする人はもちろん、その保護者や地域の方々も心地よい時間を過ごせるよう準備を進めています。工事の進捗などは、協会のInstagramでも発信していますので、ぜひご覧ください!

工事の進捗などは「COSMOS」の
Instagramでチェック!



県協会所属チーム紹介

Pick-up! Football Family Vol.16

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

県唯一のフットサル専門チーム。 幅広い年齢層の選手が楽しみながらプレー



▲カテゴリーはトップ、サテライトと分かれています、練習は区別なく実施。高校生年代の選手も社会人と混じってプレーします



▲昨年、九州リーグ2部を制し今年から1部に昇格。試合でも楽しくプレーするのがエンプレnte流



▲11人制と違い、攻守の切り替えやゲーム展開が早く、得点が多く生まれるのもフットサルの魅力

エンプレnte熊本 フットサルクラブ

フットサル

- 設立/2011年
- 代表/鶴田 文彦
- 選手数/45名

〈チーム沿革〉

- 2011** (平成23)年 チーム発足
熊本県フットサルリーグ3部3位(2部昇格)
- 2016** (平成28)年 熊本県フットサルリーグ2部優勝(1部昇格)
- 2018** (平成30)年 熊本県フットサルリーグ1部優勝
- 2019** (平成31)年 熊本県フットサルリーグ1部2連覇
(九州フットサルリーグ2部昇格)
- 2021** (令和3)年 九州フットサルリーグ2部優勝(1部昇格)

2011年設立とチームの歴史は浅いにも関わらず、熊本県のフットサルカテゴリーを引っ張る存在のエンプレnte熊本フットサルクラブ。現在は、高校生から50歳前後まで幅広い年齢層の選手が45名ほど所属。トップチームが九州フットサルリーグ1部、サテライトチームが県フットサルリーグ2部に参戦しています。

エンプレnte熊本は元々、ジュニア(小学生)のカテゴリーから始まったクラブですが、ジュニアチームのOBからの要望と、代表を務める鶴田文彦さんが抱いていた「フットサルチームを作りたい」という思いが一致し、フットサル部門を立ち上げました。技術レベルやサッカー経験に関係なく、誰もが楽しくプレーできるチーム」というコンセプトが、活動の軸にあります。

フットサルはコートが狭く、個々の動きをデザインしたプレーが有効なため、フィールドプレーヤー4人を1つのユニットとして戦術を深めるのが一般的。エンプレnte熊本では、このユニットを3セット編成。それぞれ異なる戦い方を採用することで、選手個々の特長がより生かされ、対戦相手にとっては対策が難しくなること。それが短期間での上位リーグ昇格やFリーグでプレーするプロ選手の輩出という実績にもつながっています。

「将来、プロを目指す選手もいますし、学校のサッカー部に馴染めないけれどボールを蹴りたいという高校生もいます。高いレベルを目指すあまり楽しくプレーできなくなるという環境にはしたくありません」と、代表の鶴田さん。



堀川武留さん(22歳)は、高校3年生の頃から在籍してスキルを磨き、昨年8月から今年5月までイタリア・セリエCのフォルリでプレー。「幅広い年齢層のメンバーと一緒に楽しめるのが、このチームのいいところ」



16歳の河喜多悠人さんは、小学生の頃にエンプレnte熊本のジュニアチームでサッカーを始め、フットサルに転向。将来は、フリーガーなど「フットサルで食べていけるようになるのが夢」

熊本学園大学サッカー部

1種

- 設立/1951年
- 総監督/立木 宏樹
- 選手数/71名

〈チーム沿革〉

- 2018** (平成30)年 第33回九州大学サッカーリーグ2部準優勝(1部昇格)
第68回九州地区大学体育大会3位
- 2019** (平成31)年 大杉杯争奪KFA令和1年度熊本県学生サッカーリーグ優勝
第69回九州地区大学体育大会3位
- 2020** (令和2)年 天皇杯第100回JFA全日本サッカー選手権大会
熊本県代表決定戦準優勝
第35回九州大学サッカーリーグ2部4位
2020年度KUMAMOTO学生フェスティバル準優勝
- 2021** (令和3)年 第36回九州大学サッカーリーグ2部優勝(1部昇格)

2年ぶりに九州大学リーグ1部に復帰 強豪と渡り合い残留、定着を目指す



▲主な活動の場は九州大学サッカーリーグで、週末に行われるゲームに向けて火曜から金曜までトレーニングを実施



▲ゲーム形式は対戦相手も想定した内容で、ボディコンタクトやインテンシティも実践しながら



熊本学園大学サッカー部は、1951年創部の伝統あるチーム。現在は1〜4年生まで71名の部員が所属し、学生生活と両立させながら活動しています。「チームスタイルも含めて細かな決まりや型はなく、プレーの面でもプレー以外の面でも部員の自主性を重視しています。学生コーチはいますが、トレーニングの内容や試合に臨むメンバーは自分たちで決めていきます」と、キャプテンを務める岩崎竣也さん(社会福祉学部ライフウェルネス学科4年)。

上下関係も高校までのような厳しさはなく、逆に学年の枠を越えたコミュニケーションが図れることで醸成されるチームワークの良さも特長。7割程度は県内高校出身ですが、県外の高校から進学してきた学生もいるため、週2回は朝に練習をやり、週2回は朝に練習をやり取りしてアルバイトや資格取得の勉強にも打ち込める

火曜がフィジカル、水・木曜が基本的な技術練習や対人メニュー、金曜が戦術的な要素を落とし込んだゲーム形式、土日に公式戦というスケジュール

教員志望の学生も少なくなく、卒業後に社会に出てや組織運営のスキルが、自主的な活動を通して培われているといえそうです。

「総監督の立木先生からも『大人として社会に出る前の年代なので、自律が大切』と言われていて、学年が上がることによって、それぞれがチームのことを考えて行動できるようになっています。精神面で成長できるのが、学生主体で運営しているメリット」と岩崎さん。



キャプテンの岩崎さんは大津高校出身。将来は教員を目指していて、「部員のモチベーションの高め方やアプローチの仕方に工夫している」



中心選手の1人であるFWの永松勇人さん(社会福祉学部ライフウェルネス学科3年)。「試合中も選手同士で声を掛け合いながら、問題点の解決ができています」

スタジアムで ロアッソ熊本を応援しよう!

2022明治安田生命 J2リーグ / ロアッソ熊本ホームゲーム日程

節	日程	対戦相手	試合会場
第39節	10月 2日(日) 13:00開始	 ブラウブリッツ秋田	えがお健康スタジアム
第40節	10月 8日(土) 14:00開始	 ザスパクサツ群馬	えがお健康スタジアム
第42節	10月23日(日) 14:00開始	 横浜FC	えがお健康スタジアム

■試合日程・チケットに関する詳しい情報はロアッソ熊本公式HPをチェック!

<https://roasso-k.com/>



熊本サッカー今昔物語

第四回

創立から70年以上の歴史を持つ熊本県サッカー協会。その歴史を振り返るコラム「熊本サッカー今昔」。今回は、前回に引き続き特別編として協会元会長で名誉会長も務めた故田川憲生氏が、協会創立60周年記念誌「蹴夢(せうむ)」に寄稿されたロアッソ熊本誕生への思いをつづった文章を再構成して掲載します。同氏は、熊本日日新聞社勤務時代に「熊本にJリーグチームを」県民運動推進本部で前身のロアッソ熊本設立に奔走された中心人物で、文章からは当時の熱い思いが伝わってきます。

ロアッソ熊本、発足3年目にしてJ2昇格果たす

熊本日日新聞社常務取締役 田川 憲生

(肩書きは当時)



平成17年4月に九州リーグに参戦したロアッソ熊本は破竹の14連勝でサポーターを熱狂させ、結局、18勝3敗で、優勝。岡山市で開かれた全国地域リーグ決勝大会の決勝ラウンドでは1勝2敗で3位となったが、愛媛FCがJ2参入を果たしたことから、ロアッソは入れ替え戦無しでのJFL昇格が決まった。ロアッソはついでに、1年でJFLに昇格したロアッソは、平成18年9月にJ2への加盟を申請、JFLで原則2位以内ならばJ2参入が承認される手続きを行い、認められた。だが、JFLのレベルは簡単ではなかった。最終戦で佐川急便大阪に負け、通算成績は20勝6分け8敗で、最終順位は5位。1年でJ2参入は夢に終わった。

2年目のロアッソは二度の2連敗はあったものの、安定して上位をキープ。後期14節のFC琉球戦(11月11日)でJ参入の「4位以内」を確定させた。最終成績は21勝6分け7敗で勝ち点69の2位で、堂々とJ参入の条件を満たしたのである。ロアッソ発足から3年目。「3年でJ」という県民への約束は果たすことができた。J2参入が決まった12月3日は、熊本市中心部の百貨店やスポーツ店には「祝ロアッソ熊本いざJの舞台へ」「祝J2昇格」「J2入りおめでとう」などと書いた垂れ幕が

下がり、祝賀ムードに包まれた。同日夜には熊本市桜町の交通センター広場では報告会があり、詰め掛けたサポーター250人が選手や監督、スタッフたちを祝福の輪で包み込んだ。池谷監督は「皆さんの力を借りてJリーグに進むことが出来、熊本にJをという約束を果たせた。もっとも強いチームに育てたい」と喜びを語った。

念願のJ2入りを果たしたロアッソ熊本は新しいチーム名を「ロアッソ熊本」とし

て商標登録を行った。「ロアッソ熊本」が商標登録上で問題があることが判明し、「ロアッソ」と「阿蘇」を組み合わせたチーム名とした。また第三代社長に岡英生氏(元九州産業交通常務)を選出すると同時に、中期目標を設定。長期目標に「国盗り宣言日本一のタイトル奪取」を掲げ、中期目標として「5年以内でJ1昇格」を打ち上げた。さらに数値目標として①ホーム試合平均入場者50000人 ②サポーターズクラブ50000人 ③スポンサー企業の拡大(目標3億円)としたほか、「ユース以下の育成強化、普及活動の拡大」「クラブ支援体制の充実」を掲げ、J1昇格までに①ホーム平均入場者15000人 ②サポーターズクラブ100000人 ③専用練習場とクラブハウスの確保を目指すことにした。

J2元年の平成20年は15チーム中13位で成績は今一つだったが、ホーム入場者数は21試合で11万8600人集めた。一試合平均5279人に上り、J215チーム中10位で、当初目標をクリアした。また、基盤整備でも県と全市町村が初めて出資したほか、ロアッソのJ1入りを側面から支援する県民運動推進本部も新たに立ち上がり、県と熊本市は職員を同本部に派遣した。協賛企業もJFL時代より74社増え、182社で協賛金総額は2億4000万円まで増えた。確実に基盤を整えているロアッソ熊本。J2元年の最終戦の広島戦では入場者数は何と2万人を突破した。

池谷総監督・GMが言うように「KKUイングがロアッソのサポーターで真っ赤に染まった時、J1が見えてくる」。クラブハウスや専用練習場の確保や財政基盤の大幅強化、県下全域での後援会の組織づくりなどJ1への課題はこれからだ。その日のための長くて熱い戦いは、今、始まったばかりである。

※文中登場人物の肩書きや団体の名称等は、すべて当時のものです。

Result

各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

県内大会・県予選

〈1種 社会人〉

KYFA 第58回全国社会人サッカー選手権大会
熊本県予選

日程：2022/4/17、24、5/1、15、22、6/12

会場：水前寺競技場他

結果：優勝/マリーゴールド熊本

準優勝/シマズ自動車サッカークラブ

RKKカップ争奪 KFA 第29回全国クラブチーム
サッカー選手権熊本県予選

日程：2022/6/19、7/3、10、17

会場：菊池市七城運動公園サッカー菊池市七城運動公園サッカー場他

結果：優勝/嘉島サッカークラブ

準優勝/小川サッカークラブ

第3位/FCバルサミコス、ウェルビー熊本

KFA 第26回熊本県サッカー選手権大会
(天皇杯 JFA 第102回全日本サッカー選手権大会
代表決定戦)

日程：2022/4/24、5/7

会場：水前寺競技場

結果：優勝/マリーゴールド熊本

準優勝/熊本学園大学

〈1種 学生〉

KFA 2021年度KUMAMOTO学生フェスティバル
兼 学生委員会天皇杯県予選代表決定戦

日程：2022/3/18

会場：嘉島町総合運動公園多目的競技場

結果：優勝/熊本学園大学

〈3種〉

第50回熊本県蹴友会会長旗争奪
KFA 熊本県中学校U-14サッカー大会

日程：2022/1/22、23、29

会場：宇城市小川町観音山運動公園、
八代運動公園多目的広場

結果：優勝/ルーテル学院中学校

準優勝/松橋中学校

第3位/矢部中学校・武蔵ヶ丘中学校

熊本県中学校総合体育大会サッカー競技

日程：2022/7/23~25

会場：大矢野スポーツ公園、松島総合運動公園、
坂瀬川総合グラウンド、麟泉運動公園

結果：優勝/ルーテル学院中学校

準優勝/松橋中学校

第3位/二岡中学校・腹栄中学校

〈女子〉

KFA 第40回熊本県女子サッカー総合選手権大会

日程：2022/2/26、27

会場：甲佐町運動公園リバーサイドパーク

結果：優勝/MELSA熊本FCアマール

準優勝/熊本ユナイテッドSCフローラ

第3位/益城ルネサンス熊本FC

KFA 第29回熊本県女子(U-12)さわやか
サッカー大会

日程：2022/2/26、27

会場：甲佐町運動公園リバーサイドパーク

結果：優勝/嘉島セルシアFC

準優勝/FCK MARRY GOLD KUMAMOTO U-12

第3位/熊本ユナイテッドSCエーマ

KFA 第34回九州なでしこサッカー大会
熊本県予選 熊本東ライオンズカップ

日程：2022/4/2、3

会場：甲佐町運動公園リバーサイドパーク

結果：優勝/東海大学付属熊本星翔高等学校

準優勝/熊本ユナイテッドSCフローラ

KFA 第28回女子(U-15)サッカーINくまもと
supported by DAIHATSU熊本ダイハツ販売
(JFAガールズサッカーフェスティバル2022熊本)

日程：2022/7/17、18

会場：日奈久ドリームランド、芦北町宮岩崎グラウンド

結果：優勝/八女学院女子フットボールクラブ(福岡)

準優勝/Dream Spread FC宮崎(宮崎)

第3位/日置シーガールズFC(鹿児島)

KFA 第41回熊本県女子サッカー選手権
兼 皇后杯 JFA 第41回全日本女子サッカー
選手権大会熊本県大会

日程：2022/8/6、13

会場：甲佐町運動公園リバーサイドパーク

結果：優勝/熊本ユナイテッドSCフローラ

準優勝/八代フューチャーズレディース

〈フットサル〉

KFA 第25回熊本県フットサルリーグ

日程：2021/6月~2022/3月

会場：ウイングまつばせ、大矢野総合体育館他

結果：1部) 優勝/BTT

準優勝/KEL Futsal Laboratory

第3位/FORZA B.B

2部) 優勝/熊本学園大学サテライト

準優勝/ヴェルメリオ熊本

第3位/エンフレンテ熊本サテライト

KFA 第11回熊本県U-18フットサルリーグ2021

日程：2021/7月~2022/3月

会場：県内公共施設、県内民間施設他

結果：優勝/エンフレンテ熊本U18

準優勝/第一高校サッカー部

第3位/国府高校フットサル

JFA バーモントカップ
第32回全日本U-12フットサル選手権熊本県大会

日程：2022/5/7、8

会場：ウイングまつばせ

結果：優勝/バレイアサッカークラブU-12

準優勝/カベッサ熊本

第3位/アズリーノ熊本

JFA 第16回全日本大学フットサル大会熊本県大会

日程：2022/5/22

会場：美里町総合体育館

結果：優勝/熊本学園大学フットサル部

準優勝/東海大学九州フットサル部

第3位/熊本大学フットサル部

JFA 第9回 全日本U-18フットサル選手権大会
熊本県大会

日程：2022/6/5

会場：ウイングまつばせ

結果：優勝/国府高校フットサル

準優勝/エンフレンテ熊本U-18

第3位/湧心館高校

JFA 第17回全日本ビーチサッカー大会熊本県大会

日程：2022/7/10

会場：エボレパーク

結果：優勝/アヴェルダージ熊本BS

準優勝/エステーテ芦北



→大会結果、11ページからの続きです

九州大会

〈1種 社会人〉

KYFA 第58回九州社会人サッカー選手権大会 全国大会予選

日程：2022/7/30、31
会場：永添運動公園(大分)
結果：A代表/沖縄SV(沖縄)
B代表/ヴェロスクロノス都農(宮崎)
C代表/FC延岡AGATA(宮崎)
D代表/ジェイリースFC(大分)
(マリーゴールド熊本：代表決定戦敗退)

〈1種 学生〉

2022年度第45回九州大学サッカートーナメント大会

日程：2022/6/25~7/6
会場：島原市宮陸上競技場(長崎)他
結果：東海大学熊本/準決勝敗退、
熊本学園大学/2回戦敗退

〈女子〉

KYFA 第34回九州なでしこサッカー大会

日程：2022/5/14、15
会場：大津町運動公園
結果：優勝/ヴィアマテラス宮崎(宮崎)
準優勝/東海大学付属福岡高等学校(福岡)
(熊本ルネサンスフットボールクラブ：準決勝敗退、
秀岳館高等学校：準決勝敗退、
東海大学付属熊本星翔高等学校：初戦敗退)

〈フットサル〉

KYFA 第9回九州U-18フットサル大会

日程：2022/6/25、26
会場：北九州市立浅生スポーツセンター(福岡)
結果：Aパート)
優勝/佐賀東高校(佐賀)
準優勝/長崎総合科学大学附属高等学校(長崎)
Bパート)
優勝/飯塚高校(福岡)
準優勝/国府高校

KYFA 第16回九州大学フットサル大会

日程：2022/6/25、26
会場：宮崎市総合体育館
結果：優勝/長崎大学フットサル部FORZA(長崎)
準優勝/APU DELFINO(大分)

日本トリム Presents 第14回全国女子選抜フットサル大会九州大会

日程：2022/7/30、31
会場：SAGAプラザ総合体育館(佐賀)
結果：優勝/宮崎県選抜
準優勝/鹿児島県選抜

KYFA 第17回九州ビーチサッカー大会

日程：2022/8/6、7
会場：長井浜海水浴場(福岡)
結果：優勝/ソーマプライア沖縄(沖縄)
準優勝/ドルソーレYUKUHASHI(福岡)
第3位/アヴェルダージ熊本BS(熊本)

トレメシ

Vol.16

アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



記録的な猛暑となった今年の夏。それだけに、例年以上に「見えない疲れ」が体に蓄積しているかもしれません。夏の疲れが残ったままだと、せっかく練習を積んでも秋冬にいいパフォーマンスができなくなる原因にも…。今のうちにしっかりと疲労回復しておきましょう!

渡邊 まみさん/食育料理研究家、アスリートフードマイスター
熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram(mamipan358)で情報発信中。

recipe 1 ごはんがススム!! スパイス香る魯肉飯

ルーローファン



台湾のソウルフード「魯肉飯」は、甘辛く煮た豚肉が食欲をそそる一品! 八角などのスパイスを効かせれば、さらにご飯が進むこと間違いなしです。豚肉に含まれるビタミンB1は疲労回復効果があるだけでなく、糖質の代謝にも欠かせません。

【作り方】

- ① 豚バラ肉は1cm幅の角切りにし、塩こうじをまぶして20分以上置く。
- ② フライパンにごま油大さじ1、みじん切りにしたショウガとニンニクを入れてゆっくり香りが立つように炒めたら、さらに豚バラ肉を入れて中火で炒める。
- ③ ②に甜菜糖を加えて炒め、醤油、オイスターソース、日本酒、はちみつを入れ、弱めの中火で10分ほど煮る。
- ④ ③に水を加え、ゆで卵、八角、五香粉を入れて落とし蓋をし、弱めの中火で30~50分煮込む。
- ⑤ 蓋を取って火を強め、中火で煮汁を煮詰める。
- ⑥ どんぶりにご飯、煮込んだ豚肉、卵をのせ、茹でた小松菜を添えて煮汁もかける。トッピングに青ネギと白炒りごまをかけて出来上がり!!

■材料(3~4人分)

豚バラ肉(ブロック).....300g	(あればお好みで入れる)
塩こうじ.....30g	八角.....1個
甜菜糖.....大さじ2	五香粉.....小さじ1/2
醤油.....大さじ2	(トッピング)
オイスターソース.....大さじ2	青ネギ.....適宜
純米酢.....大さじ2	白炒りごま.....適宜
日本酒.....大さじ2	(付け合わせ)
はちみつ.....大さじ1	ゆで卵.....4個
水.....1カップ	茹でた小松菜.....1束
ショウガ.....1片	
ニンニク.....1片	

recipe 2 疲労回復!! 豆腐と甘酒の酵素シロップアイス



豆腐に含まれるたんぱく質、甘酒のブドウ糖やビタミンB1は、疲労回復に最適な栄養素。さらに、酵素シロップには、疲れた腸を整える働きも期待できます。途中でかき混ぜることでなめらかな仕上がりに! 甘酒はストレートタイプを煮詰めてもOKです。

【作り方】

- ① 絹ごし豆腐はキッチンペーパーで二重に包んで水切りする。
- ② フードプロセッサーに①、甘酒、お好みの酵素シロップ、塩を入れて混ぜ合わせる。
- ③ ②を容器に入れて冷凍庫で凍らせる。途中2時間おきに2回ほどかき混ぜる。

■材料(3~4人分)

絹ごし豆腐.....150g
甘酒(2倍濃縮).....150ml
お好みの酵素シロップ.....大さじ3
塩.....ひとつまみ



「KFA NEWS」は、 ここで手に入れよう!

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>



右記QRコードからも
アクセスできます→



編/集/後/記

もう数十年前、小学4年生の私は野球部でしたが、球拾いばかりの日々の中、ふと隣のサッカー部の練習を見てみると、全員が練習に参加していてとても楽しそうに見えたのが、サッカーを始めたきっかけです。友人と2人ですぐさま職員室へ行き、顧問の先生に転部をお願いをしたことを今も鮮明に覚えています。現在も多くの人の繋がりのおかげでシニアリーグ(O-40、O-50)と県リーグに所属。今後もプレイヤーとして楽しみつつ、広報委員としても微力ながらサッカーの発展・普及に貢献出来ればと考えています。(伊藤)

私が小学校低学年の時にJリーグが開幕しました。その時の興奮や感動は今でも忘れません。それをきっかけにサッカーを始めて、今も続けています。今では熊本にもプロサッカーチーム「ロアッソ熊本」があり、あの時のような興奮や感動を身近で感じられる機会が増えました。それをより多くの人に感じてほしいし、それをきっかけにサッカーを始める人が増えてくれれば嬉しいです。また、子どもたちが私のように長くサッカーを続けられる環境を整え、熊本のサッカー文化を支えていきたいです。(徳元)